



～7月のクラスだより～



ひよこ組

【7月の保育のねらい】

- ・沐浴や水遊びを楽しみ、心地よく過ごす。
- ・好きな姿勢で、のびのびと身体を動かして楽しむ。

<色々なものに興味津々です！>

最近、寝返りをしながらゴロゴロ姿勢を変えて遊んでいた子が、すりばいをして前に進むようになったり、ハイハイをしていた子が一人で歩けるようになったりと成長著しいひよこ組のこどもたち。身体が少しずつ自由に動くようになってきて、行動範囲が広がってきました。身近な人や玩具に関心を示し、好奇心でいっぱいです。

室内に戸板と台を組み合わせて緩やかな斜面を作ると、「行ってみよう！」とハイハイで斜面を上ったり、一歩ずつ壁を伝ってゆっくり上ったりと楽しそうに遊んでいます。「すごいね！いっぱい歩いたね！」と保育者が声を掛けると、にっこり笑って誇らしげです。

一人ひとりの動きが全く違うこどもたちですが、自分で動けるようになることで、世界がどんどん広がっていきます。ハイハイや伝い歩きは、歩行に向けて体の筋力やバランス感覚を鍛える大切な運動です。こどもたちの興味や発達に応じて、楽しく身体を動かして遊ぶことができればと思います。



ちゅうりっぷ組

【7月の保育のねらい】

- ・プール遊びを楽しむ。
- ・夏の生活の仕方を知り、必要なことを自分でしようとする。

<泥・水あそび>

園庭に前日の雨でできた、大きな水たまりを発見したこどもたち。朝の集まりでは何をしたいかを聴くと、「水たまりで遊びたい」との声があり、裸足で出てみることに。水たまりに足を恐る恐る入れる慎重派な子、ダイナミックに泥水に飛び込む子、等様々です。最初は見ていただけの子も、「あ！あったか～い」という声に、「温泉みたいだね」「気持ちいいね」と次々に足を踏み入れます。しばらくすると、「あれ？こっちは冷たい！なんで？」と大発見。どろどろの地面を踏んでみると「うわあすごい！ぬるぬるだ～！！」と感触や温度の違いを肌で感じました。「工事中です」とスコップで山を作ったり、バケツやペットボトルに水を汲んで泥水遊びも楽しんでいます。「コーヒー屋さんです」「チョコ饅頭どうぞ～」と手を泥だらけにしながら店員になりきっています。

泥遊びが終わると、手や足をきれいに流すため、水道に向かいます。一列に並んで待ち、順番になったら自分でたらいの中で手足をこすって「きれいになってきた」「こんなにどろどろだった！」などと洗っていました。これから暑くなってくると、シャワーやプールが始まるので、これからも夏ならではの遊びを存分に楽しんでいきたいと思っています。



りす組

【7月の保育のねらい】

- ・自我が表れ始め、自己主張し、安心して自分の気持ちを表現する。
- ・水に触れて遊ぶことを楽しむ。

<自分でやりたい！>

自我が少しずつ出てきて、「自分で！」「イヤ！」と主張したり、物や人にこだわることも多くなってきたりすぐみです。最近では、食事の時に保育士がエプロンを渡すと「ちがう、こっち！」と自分でエプロンを選んだり、食後はエプロンとタオルを「自分で！」と汚れもの入れの袋に片付けたりします。「できた」とにっこり笑ったり、拍手をして喜んだり、自分で出来た嬉しさが伝わってきます。

食事以外にも「自分で」と主張することはたくさんあります。衣服の着脱にも興味を示し、自分で服を選び、着てみようとしています。服が気に入らないと首を振り、「イヤ！」と気持ちを伝える姿があります。そんな時は、「これとこれ、どっちにする？」など選択できる声かけをするようにしています。

安心して自分の気持ちを表現できるよう、一人ひとりの気持ちを受け止めつつ、さりげなく援助したり、時には時間をかけて、出来るまで見守るような関わりをしています。



さくら組

【7月の保育のねらい】

- ・プールでおもいきりあそび、夏を楽しむ。
- ・ハサミ・糊・絵の具・テープなどの道具の使い方を覚え、制作を楽しむ。

<へびづくり>

普段から、広告紙やハサミを使った制作遊びに熱中している子が多く、最近では“作りたいもの”や“やりたいこと”のイメージが、段々と凝ったものになってきています。

しかし、実際に手元を見てみると、ハサミの使い方やノリとテープの使い分けなど、ぎこちない様子も見られます。そこで、楽しみながら道具の使い方に慣れることができるよう、“へびのおもちゃ”（渦巻きを切る）の制作遊びを提案したところ、「作りたい！」「おれ強いのにする！」と意欲的な声が聞かれました。保育士が描いたへびの絵に、思い思いに色を塗り、その後、蛇の渦巻をこどもたちが線にそって切りました。切り進めていくうち、段々と小さくなっていく画用紙に自然と手つきが慎重になっていくこどもたち。「できないから、やって。」と大人に声をかけていた子もいましたが、紙を少しずつ動かしていくことや、ハサミの持ち方を伝えると、保育士が手をかさなくても自分で渦巻き状の切れ込みを入れることができていました。

七夕も近づいていますので、笹飾りの制作などに繋げながら、引き続き様々な道具の使い方に慣れていければと思います。



【7月の保育のねらい】

- ・クラスで植えたきゅうりの成長を楽しみにし収穫し、美味しく食べる。
- ・保育者と一緒にポディーペインティング・氷・片栗粉など感触遊びを十分に楽しむ。

<きゅうりの苗を植えました>

お昼ご飯にきゅうりがサラダや和え物の中に入っていることがあり、きゅうりなら食べるという子も多いのできゅうりを育ててみることにしました。

まずは、新聞紙に包んだきゅうりをチラチラと見せて「これ、なあんだ？」と問いかけると「きゅうり～」と元気な声が上がりました。「きゅうりがいっぱい出来るように苗を植えてみよう！」「やった～！！」。さっそく4つのグループに分かれてプランターに土を入れる作業を張り切ってやってくれました。お散歩に行く前に水まきをしながら観察。「お花が咲いたね」「小さい赤ちゃんきゅうりだ」「プツプツしてるよ」と毎日見ているうちに大きくなりみんなで収穫しました。おやつ時間に栄養士の是永さんがうさぎぐみに来てくれて、こどもたちの目の前できゅうりを切ってくれました。いつもとちょっと違った雰囲気になり静まり返る室内でした。きゅうりには味噌を付けて食べました。何回もおかわりする子、いつもは食べないけどちょっと食べられた子、ちょっとだけ口に入れてみる子と様々でした。みんなで大きく育てたきゅうりの色、形、匂い感触など感じながら生長を楽しんでいます。現在収穫10本！あと何本採れるか楽しみです。



もみじ組

【7月の保育のねらい】

- ・友だちと協力して行事をすすめる。
- ・もみじ組だけの行事を楽しみに思いでを共有する。

<クッキング>

もみじ組になり初めてのクッキングは、「ピーラーを使ってにんじんをむく」でした。2人1組でにんじんを丸々1本むきました。「何回ずつやる？」「じゃんけんで（順番を）きめよう！」など、友達とのやりとりを自分たちで進めていけるところが年長児らしいです。はじめは、にんじんの押さえ方や力加減が分からず、“おっかなびっくり”な子が多かったですが、何しろにんじんを丸々1本むくというミッション！繰り返しながらコツを掴んでいきました。にんじんの中心に近づき模様のようになっているところを見つけると、「甘いところがでてきた！」と気づきやる気もアップ。1本すべてやり終わるとみんな満足そうでした。「にんじんシリシリ風」にして卓上コンロで調理し、昼食で食べました。

にんじんの皮むきをすることで、クッキングの楽しさを味わうことができました。「次は何をつくる？」とすぐに話をしているこども達です。今後ももみじ組全員で意見を出し合いながら、いろいろなクッキングをやっていきたいと思っています。

